

# 1 水道の普及

本県の水道は、甲府市が大正2年3月に給水人口10万人の施設を創設したのを初めとして、昭和10年までに上野原町、都留市、河口湖南水道企業団、大月市、勝沼町、富士吉田市が創設し、現在21施設の上水道が県内総人口の約7割の人々の生活を担っている。

しかし、簡易水道への依存率は依然として高く、事業の経営規模も給水人口300人以下の小規模のものが多い。

水道の普及は、戦後の生活水準の向上と衛生思想の普及、昭和27年の簡易水道に対する国庫補助制度の創設、さらに、昭和30年代からの経済成長に伴う施設数、給水人口、給水量の増加、昭和38年度の県単補助制度の創設等によって促され、昭和51年度には90%台に達した。

以後、昭和54年度に山梨県水道整備基本構想を策定し、未普及地域の解消や広域的な水道整備促進に努めてきた。

平成14年度末の給水人口は876,199人で、総人口900,423人に対する普及率は、97.3%であり、全国普及率96.8%を上回っている。

市町村別の普及率は、市98.8%、町96.8%、村91.2%となっており、町村の普及率が市の普及率に比べて低い現状にある。

普及率が100%の町村は10(昨年度比2増)で、95%以上の市町村は34(昨年度比2減)である。また、85%未満の町村は6で昨年度と同数である。

## 現在給水人口と普及率 (平成15年3月31日現在)

(単位：人)

区 分		市	町	村	計	
総 人 口		408,879	428,356	63,188	900,423	
給 水 人 口	上 水 道	362,155	262,058	12,607	636,820	
	簡易水道	41,465	151,984	41,318	234,767	
	内 訳	公 営	41,465	151,984	40,927	234,376
		その他	0	0	391	391
	専用水道	220	717	3,675	4,612	
	計	403,840	414,759	57,600	876,199	
普 及 率 (%)		98.8	96.8	91.2	97.3	